

第 28 回こども育成支援会議でのニーズ調査票等に対する委員意見および修正内容

就学前児童調査票

問番号	委員からの意見	修正内容
全体	<p>・回答の締め切りの日程に関して、表紙に書いたり裏面に書いていたり、調査票ごとにバラバラなので、統一して一番前にわかるように書くほうが良いのでは。(田中委員)</p>	<p>表紙裏に回答方法(質問紙・WEB回答)、回答上の注意点、回答期限、問合せ先をまとめて記載(19～39歳調査に合わせる)</p>
<p>表紙から2枚目 【用語の定義】</p>	<p>・「幼稚園」「保育所」「認定子ども園」の中身まで掘り下げて説明したほうがよいのでは。(三角委員)</p> <p>・「保育所」の説明。児童福祉法では「保育に欠ける」ということだが、平成27年の子ども・子育て支援新制度では「保育の必要な児童」のように言い方が変わってきている。少し古い言い方である。(矢野委員)</p>	<p>問9の選択肢の欄外に注釈を追記</p> <p>表紙裏の説明を一部修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園 : 学校教育法に定める、3～5歳児に対して<u>幼児教育</u>を行う施設 ・保育所 : 児童福祉法に定める、<u>保育を必要とする</u>0～5歳児に対して保育を行う施設
<p>問9 国では幼児期の教育・保育の無償化を進めています。条件が許せば、どのような子育てを希望しますか。</p>	<p>・注釈を※「預かり保育」だけでなく、「認定子ども園」も入れてはどうか。(事前意見)</p> <p>・選択肢について。幼稚園に関して私立なのか公立なのか、分類わけをしたほうが、よりニーズ調査として意味があるのではないか。(田中委員)</p>	<p>問9の選択肢の欄外に下記の注釈を追記</p> <p>※「保育所」…保護者が働いていたり病気等のため、家庭でお子さんを保育できないときに、保護者に代わって保育する福祉施設</p> <p>※「認定子ども園」…保育所機能と幼稚園機能の両方を一体的に提供するとともに、地域の子育て家庭向けの支援事業を実施する施設</p> <p>選択肢2・3(幼稚園)を下記のとおり公立と私立に分けた選択肢とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2 …、<u>公立</u>幼稚園に通わせたい ・3 …、<u>私立</u>幼稚園に通わせたい ・4 …、<u>公立</u>幼稚園(預かり保育を利用)に通わせたい ・5 …、<u>私立</u>幼稚園(預かり保育を利用)に通わせたい

小学生調査票

問番号	委員からの意見	修正内容
全体	<p>・回答の締め切りの日程に関して、表紙に書いたり裏面に書いていたり、調査票ごとにバラバラなので、統一して一番前にわかるように書くほうが良いのでは。(田中委員)</p>	<p>表紙裏に回答方法(質問紙・WEB回答)、回答上の注意点、回答期限、問合せ先をまとめて記載(19～39歳調査に合わせる)</p>
問 28	<p>・選択肢の「1 子どもに遊びを教えたりしつけをしてくれる場」の「しつけ」はどの範囲のしつけなのか。「ここで言うのは遊びのルールやマナーです」など一言付け加えると親の理解が早まると思う。(西谷委員)</p>	<p>「子どもに遊びを教えたりしつけをしてくれる場」→「子どもに遊びや遊びのルール・マナーなどを教えてくれる場」に変更</p>

中学生・高校生調査票

問番号	委員からの意見	修正内容
全体	<ul style="list-style-type: none"> ・児童養護施設の子も達は、「家族」「家」という部分で答えにくいかなと思う。質問票に家族の定義を「生活を共にする人」あるいは「施設」と書いて良いのかなとは思。家族と接点がない子は全部書けないので、ご配慮いただければ。(栗本委員) 	表現を下記に変更 <ul style="list-style-type: none"> ・「家族」→「一緒に暮らしている人」 ・「家」→「住んでいるところ」「暮らしているところ」
問1 あなたの性別をお答えください。	<ul style="list-style-type: none"> ・選択肢「3 どちらでもない」が、「ない」と言われると存在自体を否定されたようなので、柔らかい問いかけに変えられないか。(森委員) 	設問文を、「あなたが <u>思う</u> 性別をお答えください。」とし、選択肢を「1 男性 2 女性 3 <u>わからない</u> 」に修正
問2 あなたはいずれに在学していますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・選択肢に特別支援学校・特別高等支援学校はいれなくても良いのですか。 	選択肢に「4 特別支援学校」を追加
問8 あなたがご家庭でしてもらっていることをお答えください。	<ul style="list-style-type: none"> ・金銭的にしてもらっているということで良いのか。親としては色々してあげていると思うが、この書き方だと金銭的に困っている子達はどれも難しい。どの系の「してもらっている」ことなのか。(美馬委員) 	下記の選択肢を新たに追加 <ul style="list-style-type: none"> ・5 宿題や勉強をみてもらう ・6 部屋の中一緒に遊ぶ ・7 外で一緒に遊ぶ ・8 外食をする ・9 美術館や博物館、音楽鑑賞に行く ・14 悩みや相談ごとを聞いてもらう
	<ul style="list-style-type: none"> ・「9 医者に通う」「10 歯医者に通う」は、通わせていなかったらネグレクトであり、ここまでの質問が必要なのか。「朝食・夕食を作ってくれますか」などのように言い変えたほう良いのではないか。(宗清委員) 	「9 医者に通う」「10 歯医者に通う」は、両者を集約し下記の表現に変更 <ul style="list-style-type: none"> ・15 病気になったりケガをしたときに看病してもらう

中学生・高校生調査票

問番号	委員からの意見	修正内容
問 15 家族のお手伝いをする ことで、ふだんの生活上、何か 変化はありましたか。	・選択肢の後半7番以降が重たい 答えになっていて、お手伝いする ことが何か悪影響を与えている、 お手伝いは悪いこと、という印象 を受けるのではないか。(河田委員)	選択肢の順番を変更(プラス項目・ マイナス項目を交互に並べる)
	・設問文「家族のお手伝い」の部分 がわかりにくい。「お世話」なら わかりやすい。「お世話」を柔ら かくして「お手伝い」にしている のだと思うが。そのあたり言葉の 工夫をしていただければ。(森委員)	問 10～15 の設問文の「お手伝い」 を、「お手伝いやお世話」に表現 変更
	・家庭での役割分担としての「お 手伝い」と、家族に対する「お世 話」というのをもう少し区別して 書かないとわかりにくい。何が 「お手伝い」で何が「お世話」 なのかははっきりわかるような形 にした方が良いのではないか。 (江菅委員)	
問 16 あなたが家庭に期待 したいことは何ですか。	・「家庭に期待したいこと」がザッ クリしていてどう考えたら良い のか。また選択肢「8 家族を社会 の荒波から守ってほしい」の「社会 の荒波」をどう捉えて答えたら 良いのか。(小林委員)	選択肢8は「温かく見守ってほ しい」に変更
	・選択肢「7 経済的に安定した生 活を送りたい」というのは、生々 しく感じる。子どもにとっては きつい質問ではないか(宗清委員)	選択肢7は「お金に困らないよ うにしてほしい」に変更
問 28、29 JK ビジネスに 関して	・この質問を役立てるために、JK ビジネスについてどんなふう に考えているのかという質問を もう1つ増やして欲しいと思っ た。質問は増やせないとのこと で、今後の検討にしていきたい。 (河田委員)	質問数を増やせない。また深く 聞けば JK ビジネスについて 知らない子も知ってしまうこと も考慮し、今回はこのままで いく。

中学生・高校生調査票

問番号	委員からの意見	修正内容
問 38 住んでいる地域の中で、あなたが役に立ちたいと思う行動はどのようなものですか	・選択肢が、小さい子を相手にした内容のことばかりなので、高齢者や防災の視点を入れてはどうか。(森委員)	選択肢に下記を追加(表現の変更)。 ・2 お年寄りをみかけたら席を譲ったり、荷物を持ってあげるなどの手助けをする ・9 小学生が登下校する時に防犯のための声かけをする ・11 災害が起きた時に地域のお手伝いをする

19～39 歳調査票

問番号	委員からの意見	修正内容
全体	<p>・回答の締め切りの日程に関して、表紙に書いたり裏面に書いていたり、調査票ごとにバラバラなので、統一して一番前にわかるように書くほうが良いのでは。(田中委員)</p>	<p>就学前児童調査票・小学生児童調査票を同様の記載とした。</p>
問 12 家庭に期待したいことは何ですか。	<p>・19～39 歳と対象が幅広いため、選択肢の「厳しくしつけをしてほしい」や「家族を社会の荒波から守ってほしい」の項目がわかりづらいと思う。(西谷委員)</p>	<p>設問文を「あなたは、どのような家庭にしたいと思いますか。」に変更し、選択肢の表現を下記に修正。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1 何でも話せる ・2 困ったことがあっても支えあう ・3 時には家族や親族に対して厳しい態度で接する ・4 安らぎや愛情を与えたり、与えられたりする ・5 仲良く暮らす ・6 悩みごとを相談しあえる ・7 お金には困らないようにする ・8 温かく見守りあえる ・9 その他
問 15 今までに学校で次のようなことを経験したことがありますか。	<p>・選択肢の「4 不登校になってことがある」について、補足的に定義を記述してはどうか。(事前意見、福永会長)</p> <p>(「学校の友達とうまくいかなかった」を足してみてもどうかという意見に対しての、選択肢「3 友だちといるよりも一人でいた」でカバーできると考える、という回答に対して)</p> <p>選択肢3は、一人でいることを自ら選択する場合と、一人にならざるを得なかったという場合の2つの場合があり、不登校の原因の一つでもあるので、一つ選択肢を増やしてはどうか。(江菅委員)</p>	<p>選択肢の表記を「10 1年間に 30 日以上、学校に通えなくなったことがあった」に変更</p> <p>選択肢の順番を変更</p> <p>選択肢3の表現を下記のとおり変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2 友だちといるよりも一人でいることが多かった <p>新たに下記の選択肢を追加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4 仲間外れにされたことがあった

19～39 歳調査票

問番号	委員からの意見	修正内容
問 19 あなたは、「専業主婦・主夫」や「家事手伝い」「派遣社員などに登録しているが、現在は働いていない」「無職」になる直前は働いていましたか。	選択肢5と6について、自営業・自由業の説明をいれてはどうでしょうか。(事前意見)	問9の選択肢の欄外に下記の注釈を追記 ※「自営業」…株式会社等の法人を設立せずに自ら事業を行っている個人 ※「自由業」…勤務時間に縛られるなどの制約を受けない、作家や弁護士のような専門的職業
問 46 地域社会における子育てに関する活動の支え手として、あなたが参加したいと思うものはありますか。	・(中高生調査票での意見) 選択肢が、小さい子を相手にした内容のことばかりなので、高齢者や防災の視点を入れてはどうか。(森委員)	選択肢7を下記の表現に変更 ・お年寄りや障害のある人が困っているところみかけたら手助けをする 選択肢 16 として下記を新たに追加 ・災害が起きた時に地域でボランティアとして手伝いをする

事業者アンケート

問番号	委員からの意見	修正内容
全体	アンケート全体に関して。 保育士の人数を聞いているが、保育士が何人で、何人の加配が現在ここにいいのかという把握をしなくても良いのか。(美馬委員)	各調査票に「加配保育士等職員数」「配慮を要する児童数」「配慮の内容ごとの人数」の記入欄を追加